

重点取組分野	令和 7 年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
個に応じた指導	①個に応じた指導の工夫のために、学習計画と評価の理解を進められる校内研修を実施します。 ②ICT機器を効果的に活用し、生徒が主体的に学習に取り組む時間を充実させます。 ③生徒が自分の学びに責任をもち、自分の意思で学び方を選択できるように、教師が生徒に学びを委ねる時間を充実させ個に応じた指導に活かします。	学校評価アンケートの結果から、生徒は自分の学びに責任をもち、自分の意思で学び方を選択し、教師は生徒に学びを委ねる時間を充実させ個に応じた指導を概ね達成することができた。また、ICT機器の効果的な活用では、使用できる場面を増やすことで主体的に学習に取り組む時間の充実につながった。校内研修を通して、個に応じた指導の工夫と、学習計画と評価の理解を進めることができた。	A
豊かな心	①人権意識の育成のために道徳の授業を充実させ、また、学校の教育活動全体を通じて指導します。 ②人権講演会や人権標語コンクールを実施して、豊かな心の成長に努めます。 ③生徒の実態に即した教材を研究、活用し、実生活との関連を重視した取組を充実させていきます。すべての教科等で命・心・夢を大切にす道徳・人権に関連した授業を実施します。	道徳の授業を要とした道徳教育を充実させるために、校内研修で改めて道徳の授業について考えとともに、全学年、全クラスで公開授業を実施した。また「平和」学習を教育課程に位置づけられるよう、発達段階に応じた道徳の授業の充実を図った。これらの取組に加え、子どもの権利条約についての人権講演会、総括としての人権標語作成により、豊かな心の育成を推進することができた。	A
健やかな体	①新体力テストの結果を生徒各自が考察し、体力向上に向けた取り組みを実践する態度を育て、継続させます。 ②保健体育の授業で、準備運動に体づくりのトレーニングに全員が取り組み、体力の向上を図り、継続させます。 ③体育大会に向けた屋休みの大縄やリレーの練習を通して、集団行動や運動技能を身に付け、体力の向上を図り、継続させます。 ④心身の健康の保持増進のため、望ましい生活習慣の確立を指導し、健康・安全に関する教育を継続させます。	保健体育の体育分野では、授業の中での体カトレーニングや各単元の特性に合わせた運動を行うことで体力の向上と健康の保持増進を図った。保健分野では、体力向上と健康の保持増進に向けて知識を深め、日常生活に活かしていけるようさらにと、個々の体力と健康への関心をさらに深めていきたい。	A
キャリア教育	①学年に応じたキャリア学習を通して、職業観を養い、自らの未来に向け、主体的に考えます。 ②3年間を通して資料をフライングすることで、自分の意識の変容を見取り、未来への目標へつなげます。 ③テーマの設定、情報の収集、整理分析、まとめのサイクルをさらに意識し、思考力・判断力・表現力の向上を目指す。また活動の過程で各教科との結び付けを意識します。	第1学年の体験型職業講話、第2学年の職場体験学習、第3学年の課題解決型職業講話を行った。発達段階に合った職業観を養い、自らの進路や未来に向けた学習を展開した。生徒それぞれが将来に対して興味をもち、どのようこれから過ごせばよい進路を選択できるかを考えた。また、第3学年では企業の方への発表を通し、考察や準備を含めた活動で、思考力・判断力・表現力の向上を図った。	A
いじめへの対応	①誰もが安心して参加でき、自己肯定感や自尊感情を高める授業づくり・集団づくりのためにピアセクションを活用します。 ②教育相談や振り返りアンケート等で、生徒がSOSを発信しやすい仕組みや環境づくりを行い、いじめの防止に努めます。 ③いじめと思われる事態が発生した場合には、組織的な情報共有と対応によって迅速に問題解決ができるようにします。 ④いじめ防止研修の実施による共通認識のもと、毎日の健康観察(スタナビの活用)や年3回の生徒アンケート等により細かな変化を見逃さない体制づくりをします。	誰もが安心して参加でき、自己肯定感や自尊感情を高める授業づくり・集団づくりのためにピアセクションを活用し、いじめの未然防止につなげることができた。 ②教育相談やアンケートで生徒のSOSを発信しやすい仕組みや環境づくりを行い、いじめの防止に努めた。 ③いじめと思われる事態が発生した場合には、組織的な情報共有と対応で、生徒の心情に寄り添って迅速かつ丁寧に問題解決に向けた対応ができた。 ④いじめ防止研修の実施による共通認識のもと、スタナビ等を活用した些細な変化を見逃さない職員体制を構築することができた。	B
人材育成・組織運営(働き方)	①メンターチームを活用し、教職員の必要性に応じた研修を行います。授業研修も積極的に取り入れます。 ②ICT機器を活用した特別支援教育の体制づくりに向けて、職員全体研修を計画的に進めます。 ③定時退勤日の計画的な実施を進めます。また、業務の精選、縮減に取り組みます。	①メンターチーム研修を計画的に実施し、経験の少ない教職員への人材育成を充実させた。校内授業研修も今後充実させたい。 ②オンライン授業を試行しICT機器を活用した特別支援教育の体制づくりを行った。 ③定時退勤日の設定、業務の精選、縮減に取り組んだ。次年度は人事配置を含め業務負担の軽減に努めた。	B
生徒指導	①日頃から生徒の気持ちや声に耳を傾け、生徒理解に努めます。教育相談では、生徒一人ひとりに寄り添った相談活動を全職員が行います。 ②保護者との連絡を密に行い、相互に協力することができる関係づくりに努めます。 ③職員間での情報共有を日常的に行い、職員全体ですべての生徒を見守ります。 ④PTA活動や学業地協働事業等を通して、生徒の健全育成のために保護者、地域との組織的な連携を図ります。	日頃から生徒一人ひとりの言葉に耳をしっかりと傾け、その気持ちを敏感に感じ取るという姿勢をとることができた。教育相談では全職員で寄り添った相談活動を行い、必要に応じて生徒指導部や学年職員で情報を密に共有し、トラブルや問題行動の未然防止に努めた。また、問題発生時には保護者と迅速に連携をとり、場合によっては家庭訪問も行い、ともに協力していく関係づくりに努めた。	B
地域連携	①舞岡の会との連携を図り、校内の花壇整備等の校内環境の整備を進めます。 ②地域連携においては、音楽交流会、もちつき大会等に、生徒の自主的な参加を促し、地域との交流を深め、地域を愛する心を育てます。 ③学校運営協議会の開催とともに、地域に開かれた学校づくりに向けて、学校WEBページや学校便りによって、保護者や地域に積極的に情報を発信し、学校・家庭・地域との連携を深めます。	①舞岡の会との連携を図り、校内の花壇整備等の校内環境の整備を行うことができた。 ②音楽交流会、もちつき大会等に、生徒の自主的な参加を促し、地域の幅広い世代の方との交流を深め、地域を愛する心を育てる活動を行うことができた。 ③学校運営協議会の開催とともに、学校WEBページや学校便りによって、保護者や地域に積極的に情報を発信し、学校・家庭・地域との連携を深めることができた。	B
特別支援教育	①特別支援教室の環境整備、人的な体制づくり、学習に取り組むための教材の工夫など、校内体制を整え、組織的な取組を進めます。 ②教室環境のユニバーサルデザインへの取組や合理的配慮への取組についての研究、実践を進めます。	①特別支援教室の環境整備、各学年に特別支援Co.を配置するなど、支援体制の見直しを行った。また、リモート授業の推進など、個に応じた支援を充実させることができた。 ②教室環境のユニバーサルデザインへの取組や合理的配慮への理解、取組についての研究、実践を行うことができた。	B
a15	a25		
ブロック内評価後の気付き	小中ブロックで推進している「9年間ですべての子ども像」の育成を目指し、授業見学・協議会を行い、主体的・対話的で深い学びの実現に向けての工夫について確認した。そして、子どもたちの学力の伸びのためには、主体的な学びや協働的な学びが大切であることを共に考えることができた。しかし、テーマに対する教育が常に意識されているかどうかはまだ検討の余地がある。小中一貫した経年での学力の伸びを実感するために、協働的な学び・個別最適な学び等について各校で取り組み、9年間の学びの系統性を育めるように今後も研究する必要がある。		
学校関係者評価	・授業の様子や地域での様子を見て、落ち着いて生活できていると感じている。 ・授業において、ICT機器を活用しており、生徒一人一台のクロームブックも活用できていると感じている。 ・職員が協力し、生徒のためにできることを考え行動することができていると思う。 ・学校の取組が保護者や地域に伝わるよう発信し続け、学校・家庭・地域が一つとなった学校運営を目指してほしい。 ・学校運営委員会と学校がしっかりと連携し、今まで以上に開かれた学校づくりになるとよい。		

中期取組目標振り返り	全教職員が力を合わせ、「生徒の未来を守る」ことができる学校づくりを行った。また、学習の基礎基本の確実な定着と個に応じた指導を充実させ、主体的に学習に取り組む態度を育成した。主には、授業や学校行事、自治的活動を通して、生徒の自尊感情を育て、他者理解の心や人権意識を高めた。また、小中9年間を通して、言語活動を中心とした学習によりコミュニケーション力を向上させた。更に、健康に関心を持ち、自ら生活を改善し、心や体の課題を解決する力を伸ばし、家庭・地域と協力して、主体的に地域活動に参加する態度を育成することができた。
------------	--

重点取組分野	令和 8 年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
個に応じた指導	①個に応じた指導の工夫のために、学習計画と評価の理解を進められる校内研修を実施します。 ②ICT機器を効果的に活用し、生徒が主体的に学習に取り組む時間を充実させます。 ③生徒が自分の学びに責任をもち、自分の意思で学び方を選択できるように、教師が生徒に学びを委ねる時間を充実させ個に応じた指導に活かします。	①個に応じた指導の工夫のために、学習計画と評価の理解を進められる校内研修を実施します。 ②ICT機器を効果的に活用し、生徒が主体的に学習に取り組む時間を充実させます。 ③生徒が自分の学びに責任をもち、自分の意思で学び方を選択できるように、教師が生徒に学びを委ねる時間を充実させ個に応じた指導に活かします。	
豊かな心	①人権意識の育成のために道徳の授業を充実させ、また、学校の教育活動全体を通じて指導します。 ②人権講演会や人権標語コンクールを実施して、豊かな心の成長に努めます。 ③生徒の実態に即した教材を研究、活用し、実生活との関連を重視した取組を充実させていきます。すべての教科等で命・心・夢を大切にす道徳・人権に関連した授業を実施します。	①人権意識の育成のために道徳の授業を充実させ、また、学校の教育活動全体を通じて指導します。 ②人権講演会や人権標語コンクールを実施して、豊かな心の成長に努めます。 ③生徒の実態に即した教材を研究、活用し、実生活との関連を重視した取組を充実させていきます。すべての教科等で命・心・夢を大切にす道徳・人権に関連した授業を実施します。	
健やかな体	①新体力テストの結果を生徒各自が考察し、体力向上に向けた取り組みを実践する態度を育て、継続させます。 ②保健体育の授業で、準備運動に体づくりのトレーニングに全員が取り組み、体力の向上を図り、継続させます。 ③体育大会に向けた屋休みの大縄やリレーの練習を通して、集団行動や運動技能を身に付け、体力の向上を図り、継続させます。 ④心身の健康の保持増進のため、望ましい生活習慣の確立を指導し、健康・安全に関する教育を継続させます。	①新体力テストの結果を生徒各自が考察し、体力向上に向けた取り組みを実践する態度を育て、継続させます。 ②保健体育の授業で、準備運動に体づくりのトレーニングに全員が取り組み、体力の向上を図り、継続させます。 ③体育大会に向けた屋休みの大縄やリレーの練習を通して、集団行動や運動技能を身に付け、体力の向上を図り、継続させます。 ④心身の健康の保持増進のため、望ましい生活習慣の確立を指導し、健康・安全に関する教育を継続させます。	
キャリア教育	①学年に応じたキャリア学習を通して、職業観を養い、自らの未来に向け、主体的に考えます。 ②3年間を通して資料をフライングすることで、自分の意識の変容を見取り、未来への目標へつなげます。 ③テーマの設定、情報の収集、整理分析、まとめのサイクルをさらに意識し、思考力・判断力・表現力の向上を目指す。また活動の過程で各教科との結び付けを意識します。	①学年に応じたキャリア学習を通して、職業観を養い、自らの未来に向け、主体的に考えます。 ②3年間を通して資料をフライングすることで、自分の意識の変容を見取り、未来への目標へつなげます。 ③テーマの設定、情報の収集、整理分析、まとめのサイクルをさらに意識し、思考力・判断力・表現力の向上を目指す。また活動の過程で各教科との結び付けを意識します。	
いじめへの対応	①誰もが安心して参加でき、自己肯定感や自尊感情を高める授業づくり・集団づくりのためにピアセクションを活用します。 ②教育相談や振り返りアンケート等で、生徒がSOSを発信しやすい仕組みや環境づくりを行い、いじめの防止に努めます。 ③いじめと思われる事態が発生した場合には、組織的な情報共有と対応によって迅速に問題解決ができるようにします。 ④いじめ防止研修の実施による共通認識のもと、毎日の健康観察(スタナビの活用)や年3回の生徒アンケート等により細かな変化を見逃さない体制づくりをします。	①誰もが安心して参加でき、自己肯定感や自尊感情を高める授業づくり・集団づくりのためにピアセクションを活用し、いじめの未然防止につなげることができた。 ②教育相談やアンケートで生徒のSOSを発信しやすい仕組みや環境づくりを行い、いじめの防止に努めた。 ③いじめと思われる事態が発生した場合には、組織的な情報共有と対応で、生徒の心情に寄り添って迅速かつ丁寧に問題解決に向けた対応ができた。 ④いじめ防止研修の実施による共通認識のもと、スタナビ等を活用した些細な変化を見逃さない職員体制を構築することができた。	
人材育成・組織運営(働き方)	①メンターチームやPlantステージ別研修を活用し、教職員の必要性に応じた研修を行います。授業研修も積極的に取り入れます。 ②ICT機器を活用した特別支援教育の体制づくりに向けて、職員全体研修を計画的に進めます。 ③定時退勤日の計画的な実施を進めます。また、業務の精選、縮減に取り組みます。	①メンターチームやPlantステージ別研修を活用し、教職員の必要性に応じた研修を行います。授業研修も積極的に取り入れます。 ②ICT機器を活用した特別支援教育の体制づくりに向けて、職員全体研修を計画的に進めます。 ③定時退勤日の計画的な実施を進めます。また、業務の精選、縮減に取り組みます。	
生徒指導	①日頃から生徒の気持ちや声に耳を傾け、生徒理解に努めます。教育相談では、生徒一人ひとりに寄り添った相談活動を全職員が行います。 ②保護者との連絡を密に行い、相互に協力することができる関係づくりに努めます。 ③職員間での情報共有を日常的に行い、職員全体ですべての生徒を見守ります。 ④PTA活動や学業地協働事業等を通して、生徒の健全育成のために保護者、地域との組織的な連携を図ります。	①日頃から生徒の気持ちや声に耳を傾け、生徒理解に努めます。教育相談では、生徒一人ひとりに寄り添った相談活動を全職員が行います。 ②保護者との連絡を密に行い、相互に協力することができる関係づくりに努めます。 ③職員間での情報共有を日常的に行い、職員全体ですべての生徒を見守ります。 ④PTA活動や学業地協働事業等を通して、生徒の健全育成のために保護者、地域との組織的な連携を図ります。	
地域連携	①舞岡の会との連携を図り、校内の花壇整備等の校内環境の整備を進めます。 ②地域連携においては、音楽交流会、もちつき大会等に、生徒の自主的な参加を促し、地域との交流を深め、地域を愛する心を育てます。 ③学校運営協議会の開催とともに、地域に開かれた学校づくりに向けて、学校WEBページや学校便りによって、保護者や地域に積極的に情報を発信し、学校・家庭・地域との連携を深めます。	①舞岡の会との連携を図り、校内の花壇整備等の校内環境の整備を進めます。 ②地域連携においては、音楽交流会、もちつき大会等に、生徒の自主的な参加を促し、地域の幅広い世代の方との交流を深め、地域を愛する心を育てる活動を行うことができた。 ③学校運営協議会の開催とともに、学校WEBページや学校便りによって、保護者や地域に積極的に情報を発信し、学校・家庭・地域との連携を深めることができた。	
特別支援教育	①特別支援教室の環境整備、人的な体制づくり、学習に取り組むための教材の工夫など、校内体制を整え、組織的な取組を進めます。 ②教室環境のユニバーサルデザインへの取組や合理的配慮への取組についての研究、実践を進めます。	①特別支援教室の環境整備、人的な体制づくり、学習に取り組むための教材の工夫など、校内体制を整え、組織的な取組を進めます。 ②教室環境のユニバーサルデザインへの取組や合理的配慮への取組についての研究、実践を進めます。	
a15	b10		
ブロック内評価後の気付き	ブロック内評価後の気付き		
学校関係者評価	学校関係者評価		

中期取組目標振り返り	
------------	--

重点取組分野	令和 9 年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
個に応じた指導	c1		
豊かな心	c2		
健やかな体	c3		
キャリア教育	c4		
いじめへの対応	c5		
人材育成・組織運営(働き方)	c6		
生徒指導	c7		
地域連携	c8		
特別支援教育	c9		
a15	c10		
ブロック内評価後の気付き	ブロック内評価後の気付き		
学校関係者評価	学校関係者評価		

中期取組目標振り返り	
------------	--